

巻 頭 言

取締役兼執行役員
技術本部長

下 川 徹



弊社は経営理念に「人間創造」「技術創造」「事業創造」の3つの創造を掲げ、あらゆる産業分野、生活分野でお客様に必要とされ満足していただける技術と技能の発展に注力しております。お客様にも恵まれ、製鉄プラントや石油化学プラントの建設・メンテナンス事業よりスタートし、現在ではエレクトロニクス関連プラント・電力プラントなど多くの分野の設備に携わらせていただいております。

弊社のお客様は、製品の高付加価値化と設備をより長く安定的かつ効率的に稼働させること、さらには設備をより高度化させることを常に模索されております。このような中、お客様の設備の建設・メンテナンスを任されている弊社は、より高度化した施工品質の提供とお客様の立場に立った設計・提案を行っていかねばならない責任が、今後大きくなると自覚しております。

弊社は各種プラントを設計・製作・建設する技術を基礎とし、そのノウハウをメンテナンスに生かしていく活動を継続しており、その集大成として1990年に創刊いたしました高田技報の特集号として、昨年「動機器の診断ならびに整備技術」、「静機器の損傷解析ならびに溶接補修技術」を別刷としてまとめ、ご好評をいただいております。また、装置事業におきましてもMEMSやLED等の製造工程で使用する「枚葉装置（洗浄・剥離等）」や本技報で一部ご紹介しておりますSiC・ガラス・セラミック等の硬脆材料の精密切断をブレードに超音波を作用させることにより実現した「超音波カッティング装置」などの展開を行っております。

人材育成につきましては、多くの技術集団とその技術を具現化する技能集団に対し、それぞれの育成計画に基づき、お客様の要求に応えられる人材の確保を行うために経営資源の投入を継続しております。本号ではこのような内容の一部を紹介しており、ご一読いただきご意見をいただければ幸甚でございます。

2008年秋のリーマンショック以来、多くの苦難が日本を襲いました。しかし、昨年は2020年の東京オリンピック開催が決定し、オリンピックを成功させるという国民共通の目標ができて、期待感も大きくなっていきます。

弊社も常に前を向き、努力を忘れずに精進してまいります。日頃よりご愛顧いただいておりますお客様、関係者の皆様の今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を、何卒よろしくお願い申し上げます。